



825号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5 階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



2月19日(木)10:00~11:00 第二回 検数労連26春闘交渉

スト権すべての項目において高率での確立を通知！

大幅賃上げと労働条件の向上で離職を止める職場へ

【26春闘スト権集約結果】

項目	賛成	反対	白紙・棄権	合計
賃金引上げ	968	12	17	997
労働時間短縮	966	14	17	997
産別継続課題の履行	974	7	16	997
全国港湾及び地域港湾課題	976	6	15	997
人員確保対策	972	9	16	997
安全衛生対策	975	5	17	997
自然災害対策	951	7	53	997
厚生年金保険料負担割合改善	954	3	40	997
国民的諸課題	902	50	45	997

【第2回交渉】

2月19日(木)第2回検数労連26春闘交渉を行い、組合は両協会に対し、賃金引上げの対象となる職員の人数や平

【組合主張】

組合は両協会から基礎資料を受け、次の通り主張を行い組合要求に沿った回答の構築を求めました。

【スト権集約結果】

26春闘の前進に向けてスト権投票を実施しました。2月17日(火)中央集約を行った結果、左記の通り全ての項目において賛成票が90%を超える結果となり、高率でスト権を確立したことを報告します。

均年齢・勤続などを明記した基礎資料の提示を求め、交渉を行いました。基礎資料の特徴点として、両協会ともに人員減や平均年齢などが上がってきていることから、従業員の離職対策や新入職員の獲得などの対策の必要性を感じました。

全国から寄せられたスト権を中央で集約した中で、従業員の26春闘にかけける期待の大きさを感した。特に賃金引上げの項目については全体の97%の賛成票を獲得していることから、両協会はこの結果を重く受け止めたうえで回答構築してほしい。

初任給の引き上げについて、26春闘では人材確保の観点から多くの企業が初任本給一万円以上の上積みを検討している。両協会も人材確保の観点から初任本給についても大幅に引き上げていかなければ淘汰されていく。

職場では26春闘にかけける思いが日増しに強くなっている。他業種では昨年並みの賃上げは確保できるのではといった話も聞こえてきているなかで、両協会においては全ての世代で25春闘を超える回答を求める。

先日、開催した検数労連26春闘学習会の中でも若手を中心に26春闘に対する期待や思いに大きなものを感じた。港湾産別でも船社の収益状況や貨物動向など不確定な部分があるものの26春闘は覚悟をもって賃上げや労働条件の向上に向けて運動を進めていくとしている。

検数労連としても、26春闘は離職の防止や新入職員の確保の観点からも労働条件の改善や大幅賃上げを求めている。両協会も従業員の賃上げに対する期待や思いを真摯に受け止め、労働条件の改善や大幅賃上げを行うべき。



アピール採択後には、国結カンパローを全体で行い、参加者はデモ行進を行い「みんな賃上げ、平和を勝ち取ろう」というシュプレヒコールと共に進みまし

【トヨタ総行動】

2月11日(水)にトヨタ総行動が開催されました。早朝には駅前宣伝が行われ、尾崎委員長は弁士として通行人に訴えていました。その後、国民春闘勝利決起集会が開催され、各参加者団体によるリレートークや集会アピールの提案が行われ、高木検数労連中央書記長がリレートークで港湾の兵站基地化や軍事利用反対に触れ、最後は「すべての労働者の大幅賃上げに大企業は責任を果たし、労働者と下請けにまわせ」と訴えました。集会アピールの提案では「大企業の社会的責任を果たさせ、価格転嫁は当たり前を確実なものにし、中小企業でのまともな賃上げ、平和で公正な社会こそ私たちが安心して働き続けられる」「戦争をしない・させない平和な社会であり続けること。今年こそ物価高騰を上回る「まともな賃上げ」の春にしましょう」と提案されました。

次回交渉：2月26日(木) 14:30～ 第3回 検数労連26春闘交渉
収支状況、週休休暇・休日の取得状況、料金収受対策などについて、求めています。